

角筈地区協議会

平成28年度 第9回(142回) 地域交流分科会 概要

平成28年12月7日(水) 10:00~12:00

角筈特別出張所2階会議室

【出席者】委員：武田委員、森委員、伊藤委員、岩井委員、矢屏委員
事務局：徳永所長、関戸主査、曾山推進員

1 リーダーより

会議に先立って、武田リーダーの挨拶。

2 連絡事項

(1) 各分科会及び役員会の報告

① 生活環境分科会

- ・生活環境見学会「北越紀州製紙関東工場市川」報告

日時：11月30日(水) 13時30分~15時

参加人数：27名

- ・第38回「つのはず友遊カフェ」

日時：12月21日(水) 13時30分~15時30分(受付終了)

場所：西新宿シニア活動館1階活動室

イベント：クリスマス邦楽ライブ

② 安全安心分科会

- ・「新春の集い」に参加

日時：29年1月22日(日)

場所：西新宿小学校

内容：備蓄物資であるバーナーを使用した炊き出し訓練を行い、実際に災害に対応できる知識や知恵、技術、更には、自助・共助の心を習得する。

3 委員の皆さんから報告、連絡

森委員(なかよし友の会)より

角筈地域センター「わいわい広場」プラ板コーナー開催報告。

「昨年より若干少なく、売り上げは300枚弱だった。開会直後が一番混み合った。」

4 議題

(1) 地域情報紙「わいわい地域交流！」について編集会議から報告

① 41号について

- ・発行予定日：29年1月1日

- ・テーマ：地域内の水に関する史跡等紹介

12月7日に第一稿。4面は「秋を探そう中央公園！」ランチタイムコンサート

と、生活環境分科会施設見学会の報告を掲載。

(2) 「秋を探そう中央公園」振り返り

内容：雪のためランチタイムミニコンサートのみ開催

日時：11月24日(木) 12:20~12:50

(職員集合：10時 角筈特出2階)

場所：新宿パークタワー1階アトリウム

演奏者：ヤマノミュージックスクール新宿講師2名(サクソフォン)

参加人数：60~70名

【感想、反省等】

- ・演奏は、馴染みのある曲が多く良かった。
- ・2年連続雨天の為、中央公園で実施できず残念だった。
- ・会場準備スムーズにできて良かった。
- ・コンサート直前の呼び込み、もう少し増員必要だったか。地下のレストラン街、エレベーターホールへ立て看板設置・ポスター貼り・置きチラシすると良い。
- ・公園管理事務所前で中止案内をしたが、雪でもイベント目当てに来る人がいた。
- ・大変盛り上がった。ムードがあった。
- ・楽しめる曲目だった。
- ・雨天の場合の開催場所なので、事前の周知が出来ないために、席に座って聴いてくれる人は少ないが、立ち止まって聴いてくれたりチラシを持って行ってくれたり、「時間がなくてじっくり聴けず残念」と声を掛けてくれたりした。
- ・サクソは公園でも映えるのではと思った。
- ・管楽器であれだけの曲目を演奏できるとは思っていなかった。なじみのある曲目でよかった。

【物品について】

使用できなかった購入(または納品)物品については下記の通りに対応。

- ・アルファ化米五目ごはん・・・角筈地区青少年育成委員会へ譲渡。29年1月22日「新春の集い」にて使用予定。
- ・きつまいも(納品済・支払い済)・・・角筈地域センターへ譲渡(有償)。12月4日わいわい広場にて使用。
- ・LPガス(納品済・未払い)・・・角筈地域センターへ譲渡(支払いは地域センター)。12月4日わいわい広場にて使用。
- ・きのこ汁用発泡どんぶり・・・次年度使用予定。
- ・伊藤園お茶(納品済・協賛品)・・・返品不可のため、地区協議会会議等で使用予定。

(3) 施設見学会(「新国立劇場」)について

- ・担当委員からの打ち合わせの報告

11月28日(月)10:00~12:00

実際の見学会のコースを見ることができた。

- ・日時：29年2月7日（火）10時～11時
- ・募集人数：20名（多い場合は30名まで受け入れ可）。
- ・募集（周知）方法：先着順。定員に達し次第締め切り。最終締め切り1月31日。地域交流分科会委員には先に事務局から電話連絡し、出欠確認する。チラシを、館内と地域の掲示板に掲示する。また、事務局から町会事務所にも依頼する。

（4）角筈地区協議会地域交流分科会の今後の活動について

事務局より資料説明後、新たな助成制度（案）を踏まえ、今後の分科会活動を検討。

〈委員の意見〉

- ・新たな助成制度（案）によると、これまでのような全額補助ではなく一部補助になり、また自主財源が可能とのことだが、ボランティアで活動する上、財源の確保も努力しなければならなくなるのは厳しい。経費の高い情報紙の印刷費を確保するために広告収入という方法もあるが、そこまでして情報紙を出す意味があるのかと思う。我々の意欲の維持が難しい。
- ・情報紙の編集・発行は、角筈地区協議会の活動報告もするが、自己満足なところもあるから、寄付をもらってまで発行するのか、という感じはある。街にはたくさん情報誌があふれている。内容がしっかりしていないと読んでもらえない。
- ・自己満足もあるかもしれないが、委員にも住民にも地域のことを知ってもらい、コミュニティを深めてもらいたいという願いを込めて作り始めたが、自分たちで予算を工面してまで発行するのは難しい。
- ・経費の補助がなくなるなら、スポンサーを探すかやめるかのどちらかだろう。地域でおなじように発行している情報誌と統合する方法もある。たとえ補助があつてこれまでのように維持できたとしても、取材から記事作成というような作業が続けられるのかという別の問題がある。パソコン操作ができるような新しい委員が数名入る、というなら話は別だが。
- ・「秋を探そう中央公園！」はコンサート開催委託費が大きい。
- ・これまできのこ汁や焼き芋は無料配布だが、今後補助金がなくなったら、原価代だけでも徴収する。
- ・これまで無料だったものが有料になると参加者は困惑する。参加しにくくなるのでは。とはいえ、やってみなければわからない部分もある。
- ・参加費として一定額を徴収する。
- ・ランチタイムコンサートは、在勤者も足を止めて聴いてくれる。コミュニケーションはなくても交流になっている。

〈まとめ〉

地域交流分科会としての検討結果は以下の通り。

- ◆ 地域情報紙の発行について
- ・続けるために良い方法が見つかれば良いが、そうでなければやめるもしくは縮小の方向で。バザーなどで自主財源を得て10分の9の負担ならやってみよう

いうことになるかも知れないが、将来的には明るい展望はない。

◆ 秋を探そう中央公園！の開催について

・できれば工夫して続けていきたい。コンサートは無償の団体に依頼する、参加費を徴収する等。

◆ 新宿中央公園春まつりに参加

・これまでは、焼き芋等の販売売り上げは新宿区に返還していたが、これを自主財源とすることができる。

・雨天時はどうするかが課題。

◆ 施設見学会

・入場料や謝礼必要がない施設で実施する。または、参加実費とする。

5 その他

特になし。

6 次回会議日程

【分科会】

日時： 1 月 11 日 (水) 10 時 ~

場所：角筈特別出張所2階会議室

【編集会議】

日時： 1 月 10 日 (火) 15 時 30 分 ~

場所：角筈特別出張所2階会議室